

令和 7 年度 御幸小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

自ら学び 自他のよさを生かし合いながら たくましく生き抜く児童の育成

【合言葉】 かしく やさしく たくましく 笑顔いっぱい みゆきっ子

- ・【確かな学力】 自ら考え学び合う子
- ・【豊かな心】 自他のよさを認め合う子
- ・【健やかな体】 健康でねばり強い子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

【めざす学校像】

- ・ 児童が安心して登校し，主体的に考え，ともに学び合う楽しさを味わえる学校
- ・ 教職員がチームとして高め合いながら，児童の成長を喜び合える学校
- ・ 保護者や地域との連携を深め，地域の学校として誇りに思える学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

【鬼怒地域学校園教育ビジョン】

～自分でよく考え 未来に向かって たくましく生きる子供の育成～

- (1) 教育目標の具現化並びに学力調査の結果を踏まえて課題を明確にし，「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や，地域資源を活用した創意工夫ある教育活動の展開とカリキュラム・マネジメントの充実を図る。
- (2) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて，発達の段階や個に応じて各教科等での3つの資質・能力を明確にして育成する。
- (3) 個々の児童の学びを支える言語能力や情報活用能力，将来に向けたキャリア発達等を促すため，各教科等との関連を明確にし，教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成を図る。
- (4) 教員の授業力や学級経営力，ICTを活用した効果的な学びの確立を図り，図書館教育を中心とした校内研修等を通して教員のチーム力を高める。
- (5) 教職員の働き方改革をさらに推進するため，さくら連絡網の活用やICT活用，業務負担の平準化等を意識した業務の見直しに取り組めるように，学校全体で一層推進する。

4 教育課程編成の方針

- (1) 目指す児童像の具現化に向け「なりたい自分になろう！みゆきっ子パワーアッププロジェクト」として，知・徳・体の調和を図りながら特色ある教育課程を編成する。また，「頑張る学校プロジェクト」と連動して活動の充実を図る。
 - ① 基礎・基本の確実な定着と活用力の育成を図るため，主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善や一人一台端末の効果的な活用，図書館司書と連携した授業の充実，個に応じた指導の充実に努める。
 - ② 互いのよさを認め合い励まし合う態度を育成するため，体験活動や心の教育を推進する。
 - ③ 心身の健康増進のため，基礎的な体力や健康管理能力，危険回避能力の育成に努める。
- (2) 全学年で取り組む共通目標については，学級活動において振り返り，児童自身のPDCAサイクルへの意識を高め，日常化にさせることで，児童の主体的な態度や協働的な課題解決力の育成を図る。
- (3) キャリア教育との関連を図り，自己肯定感の向上や将来に向けた「キャリア発達」（社会の中で自分が役割を果たしながら自分らしい生き方を実現していく過程）を促す。学年に応じて重点化を図り，保護者と連携したキャリアパスポートの蓄積に努める。
- (4) 図書資料を活用した学習活動を重点的に取り入れ，読書活動や図書資料を活用した調べ学習を通して，新しい知識や語彙力を獲得しながら自分の思いや考えを友達に分かりやすく伝え，伝え合うことで自分の考えを広げ深められる児童の育成に努める。

- (5)「情報モラル/デジタル・シティズンシップ教育年間指導計画」に基づき、一人一台端末を効果的に活用した主体的・対話的で深い学びの実現について推進する。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 学校経営

- ① 児童の学びの基盤である言語能力の育成や一人一台端末の効果的な活用、キャリア発達等については、各教科等の特質を踏まえた位置付けや重点化を図って育成する。
- ② 教職員の業務負担の平準化等を意識した業務の見直しに取り組み、さくら連絡網の活用や、ICT活用等、働き方改革を一層推進する。

(2) 学習指導

- ① 学習規律の徹底と基礎・基本の定着を図る。
- ② 図書館司書と連携し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業実践を追究する。
- ③ 特別支援教育の視点を踏まえた個に応じた指導の充実に努める。
- ④ 図書館司書やボランティア、公共図書館等と連携し、読書活動の充実に努める。

(3) 児童指導

- ① 集団生活マナーの徹底を図る。
- ② 個々のよさを認め励ます指導の充実に努める。
- ③ 考え議論する道徳科の授業を核とした、宮っ子心の教育の推進に努める。
- ④ いじめ・不登校等の未然防止、早期発見・早期対応等に努める。

(4) 健康（体力・保健・食育・安全）

- ① 自ら健康・体力を高める意欲の向上を図る。
- ② 基礎的な体力、健康管理能力の向上を図る。
- ③ 家庭と連携した食を大切にする意識向上に努める。
- ④ 地域・家庭と連携した児童の安全確保、危険回避能力の向上を図る。

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通、地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評 価														
1ー(1) 確かな学力を育む教育の推進	A 1 児童は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 ・児童・教職員・保護者の肯定的回答率90%以上	○主体的、対話的で、深い学びの具現化を図る。 ・「問い・見通し、課題解決、まとめ・振り返り」を基本とした授業実践 ・自分の考えを広げ深める、話し合い活動の充実 ・友達と協力して学び合う場の設定	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>児 童</td><td>89.6</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td>87.5</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	児 童	89.6		教職員	100		保護者	87.5			
	R 6	R 7																
児 童	89.6																	
教職員	100																	
保護者	87.5																	
1ー(2) 豊かな心を育む教育の推進	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 ・児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答率 90%以上	○道徳や特別活動を通して自他のよさを認め合い豊かな心の育成を図る。 ・考え、議論する道徳の授業実践 ・学級活動、委員会・縦割り班活動、地域との交流活動の充実	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>児 童</td><td>89.6</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td>92.3</td><td></td></tr><tr><td>地 域</td><td>100</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	児 童	89.6		教職員	100		保護者	92.3		地 域	100	
	R 6	R 7																
児 童	89.6																	
教職員	100																	
保護者	92.3																	
地 域	100																	

	A 3 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 児童・教職員・保護者の肯定的回答率 85%以上	○目標を設定して取り組ませる指導を行う。 - 児童のよさを認め励ます指導の徹底 - 学期や年間の個人目標や学級目標の設定と振り返り - キャリアパスポートや元気っ子ファイルの有効活用 - 音読・計算カードを含めた家庭学習に関わるカードを活用し、目標やめあてを設定して学習に取り組ませるとともに、家庭との連携を図りながら指導を行う。		【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>児 童</td><td>88.9</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td>79.9</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	児 童	88.9		教職員	100		保護者	79.9				
	R 6	R 7																	
児 童	88.9																		
教職員	100																		
保護者	79.9																		
1ー(3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A 4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答率 90%以上	○健康・運動への意欲の向上を図る。 - 外遊びやサーキットトレーニング、スポーツウィークの推奨 - 感染症対策の徹底を含めた家庭と連携した健康への意識の高揚 - 養護教諭と連携した保健指導 ○望ましい食習慣づくりを推進する。 - おにぎりの日とお弁当の日の実施 - 栄養士と連携した給食指導の充実 ○安全意識の向上を図る - 避難訓練や交通安全教室を通じた対応力や危険回避能力の育成 - 一斉下校時の指導の充実		【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>児 童</td><td>88.2</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td>88.7</td><td></td></tr><tr><td>地 域</td><td>100</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	児 童	88.2		教職員	100		保護者	88.7		地 域	100	
	R 6	R 7																	
児 童	88.2																		
教職員	100																		
保護者	88.7																		
地 域	100																		
1ー(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	A 5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 児童・教職員の肯定的回答率 85%以上	○目標を設定して取り組ませる指導を行う。 - 児童のよさを認め励ます指導の徹底 - 学級活動を軸とした自己有用感の醸成 - 家庭と連携したキャリアパスポートの蓄積 - 縦割り班活動の充実		【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>児 童</td><td>86.5</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	児 童	86.5		教職員	100							
	R 6	R 7																	
児 童	86.5																		
教職員	100																		
2ー(1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進	A 6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 児童・教職員の肯定的回答率 85%以上	○英語に親しみ積極的にコミュニケーションをとろうとする態度を育てる。 - ALT と連携した授業の充実 - 英語に親しむ環境整備 - 日常生活における ALT との交流機会の充実		【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>児 童</td><td>75.1</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	児 童	75.1		教職員	100							
	R 6	R 7																	
児 童	75.1																		
教職員	100																		
	A 7 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 児童・教職員・保護者の肯定的回答率 80%以上	○教科や総合的な学習の時間で、御幸地区や宇都宮の特徴を考えさせる指導に努める。 - 宇都宮学の確実な実施 - 地域の歴史や文化、食などの地域資源や人材を生かした教育活動の充実 - 取組の様子を HP や授業参観時に掲示物等で発信		【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>児 童</td><td>88.2</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td>64.6</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	児 童	88.2		教職員	100		保護者	64.6				
	R 6	R 7																	
児 童	88.2																		
教職員	100																		
保護者	64.6																		
2ー(2) 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進	A 8 児童は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 児童・教職員・保護者の肯定的回答率 85%以上	○積極的に活用した学習機会の充実に努める。 - 学年や教科に応じた効果的な活用 - 児童の情報活用能力の育成 - 図書室の活用と図書館司書との連携		【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>児 童</td><td>87.5</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td>82.6</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	児 童	87.5		教職員	100		保護者	82.6				
	R 6	R 7																	
児 童	87.5																		
教職員	100																		
保護者	82.6																		

2ー(3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育てる教育の推進	A 9 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 ・児童・教職員の肯定的回答率 85%以上	○学年に応じて環境や平和など、持続可能な社会との関連を考える機会を設ける。 ・教科や総合的な学習の時間のテーマとの関連 ・校内掲示や各種たよりを活用したSDGs運動の啓発	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>児 童</td><td>85.2</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>95.7</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	児 童	85.2		教職員	95.7							
	R 6	R 7																
児 童	85.2																	
教職員	95.7																	
3ー(1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	A 10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 ・教職員の肯定的回答率 90%以上	○児童の実態の把握と個に応じた指導の充実に努める。 ・日頃からの児童に係る情報共有 ・特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援委員会やケース会議等での組織的な対応 ・保護者や関係機関との連携	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	教職員	100										
	R 6	R 7																
教職員	100																	
3ー(2) いじめ・不登校対策の充実	A 11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 ・児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答率 90%以上	○いじめ防止への意識の高揚と適切な対応に努める。 ・「いじめ」をテーマにした道徳の授業 ・学校・学年だよりによる情報発信 ・委員会でのいじめ防止集会等の実施 ・いじめ0標語（ポスター制作・掲示） ・教育相談やアンケート（年4回）実施 ・保護者の考えるいじめ0標語の募集・掲示	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>児 童</td><td>93.9</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td>76.3</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td>92.9</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	児 童	93.9		教職員	100		保護者	76.3		地域住民	92.9	
	R 6	R 7																
児 童	93.9																	
教職員	100																	
保護者	76.3																	
地域住民	92.9																	
	A 12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 ・児童・教職員・保護者の肯定的回答率 85%以上	○児童の実態の把握と児童の自己肯定感の向上に努める。 ・Q・Uや教育相談の結果を生かした不登校傾向の早期発見や早期対応 ・児童のよさを認め励ます指導の充実	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>児 童</td><td>93.3</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td>85.1</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	児 童	93.3		教職員	100		保護者	85.1				
	R 6	R 7																
児 童	93.3																	
教職員	100																	
保護者	85.1																	
3ー(3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実	A 13 学校は、一人一人が大切にされ、活があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 ・児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答率 90%以上	○児童のよさを認めたり児童の主体的な活動の充実に努めたりする。 ・児童のよさへの積極的な称賛 ・各種委員会、児童会、縦割り班等で児童を主体とした活動の充実 ・個人懇談で児童の頑張りやよいところを保護者に伝える。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>児 童</td><td>93.9</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td>83.6</td><td></td></tr><tr><td>地 域</td><td>100</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	児 童	93.9		教職員	100		保護者	83.6		地 域	100	
	R 6	R 7																
児 童	93.9																	
教職員	100																	
保護者	83.6																	
地 域	100																	
3ー(4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化																		
4ー(1) 教職員の資質・能力の向上	A 14 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 ・児童・教職員・保護者の肯定的回答率 90%以上	○授業のねらいや手立てを明確にし、個に応じた指導の充実に努める。 ・教材研究と個々の実態に即した支援の工夫 ・習熟度別学習、少人数指導の充実 ・かがやきルーム担当教員、特別支援学級担任との組織的な連携	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>児 童</td><td>92.6</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td>80.3</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	児 童	92.6		教職員	100		保護者	80.3				
	R 6	R 7																
児 童	92.6																	
教職員	100																	
保護者	80.3																	
4ー(2) チーム力の向上	A 15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 ・教職員の肯定的回答率 90%以上	○教職員の良好な人間関係作りに努め、組織力の向上を図る。 ・教職員間の情報共有と風通しのよい職場環境づくり ・多様な専門性を有するスタッフとの連携協力	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	教職員	100										
	R 6	R 7																
教職員	100																	

4ー(3) 学校における働き方改革の推進	A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 ・教職員の肯定的回答率 85%以上	○学校の運営の見直しや行事等の実施方法の改善を行う。 ・各種便りを HP やさくら連絡網で発信するなど、印刷作業の軽減化 ・会議や打合せの効率化、行事の精選 ・ネットワークシステムの活用など効率的な職務執行 ・リフレッシュディ（月 1 回）実施	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>教職員</td><td>87.0</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	教職員	87.0										
		R 6	R 7															
教職員	87.0																	
5ー(1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 ・児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答率 80%以上	○小中一貫・地域学校園の取組を効果的に実施する。 ・あいさつ運動、乗り入れ授業等の実施 ・中学校訪問や宮っ子チャレンジでの中学生との交流活動の実施。 ・小中一貫会議の様子をさくら連絡網、HP などで公開（情報発信）	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>児 童</td><td>88.0</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td>83.8</td><td></td></tr><tr><td>地 域</td><td>91.7</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	児 童	88.0		教職員	100		保護者	83.8		地 域	91.7	
	R 6	R 7																
児 童	88.0																	
教職員	100																	
保護者	83.8																	
地 域	91.7																	
5ー(2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進	A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 ・児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答率 90%以上	○地域の人材や企業と連携した教育活動の充実 ・生活科、総合的な学習の時間、社会科等における校外学習やリモート学習、出前授業等の実施 ・あいさつ運動等、地域と連携した活動の実施 ・保護者参加型の行事の情報発信並びに参加の機会の複数化	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>児 童</td><td>89.6</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td>91.0</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	児 童	89.6		教職員	100		保護者	91.0		地域住民	100	
	R 6	R 7																
児 童	89.6																	
教職員	100																	
保護者	91.0																	
地域住民	100																	
5ー(3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進																		
6ー(1) 安全で快適な学校施設整備の推進	A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 ・教職員・保護者・地域の肯定的回答率 90%以上	○安心・安全な環境づくりに努める。 ・毎月の安全点検等での危険箇所や修繕箇所の把握及び迅速な対応 ・修繕箇所の把握と計画的な修繕 ・構内での安全確保に関する情報提供や注意喚起	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td>88.9</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	教職員	100		保護者	88.9		地域住民	100				
	R 6	R 7																
教職員	100																	
保護者	88.9																	
地域住民	100																	
6ー(2) 学校のデジタル化推進	A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。 【数値指標】 ・教職員の肯定的回答率 90%以上	○機器や図書の整理、確認及び有効活用を図る。 ・定期的な点検や整備の実施 ・効果的な I C T 活用や図書活用に係る研修の実施	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	教職員	100										
	R 6	R 7																
教職員	100																	
小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 ・児童・教職員の肯定的回答率 90%以上 ・保護者・地域住民の肯定的回答率 80%以上	○自分からあいさつできる実践力の向上を図る。 ・学級や児童会によるあいさつ運動の実施・振り返り（あいさつ週間、ポスター等） ・職員からの積極的なあいさつの励行、児童への称賛 ・家庭や地域と連携したあいさつ運動の実施	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>児 童</td><td>87.2</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td>78.3</td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td>92.9</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	児 童	87.2		教職員	100		保護者	78.3		地域住民	92.9	
	R 6	R 7																
児 童	87.2																	
教職員	100																	
保護者	78.3																	
地域住民	92.9																	

小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B 2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 ・児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答率 90%以上	○集団生活のルールを守って安全に生活するための実践力の向上を図る。 ・「みゆきっ子生活スタンダード」の徹底 ・学年、学級による「きまりやマナー」、生活目標の指導 ・帰りの会や学級活動等での振り返り	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>児 童</td><td>91.6</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td>88.6</td><td></td></tr><tr><td>地 域</td><td>92.9</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	児 童	91.6		教職員	100		保護者	88.6		地 域	92.9	
		R 6	R 7															
	児 童	91.6																
	教職員	100																
	保護者	88.6																
地 域	92.9																	
B 3 児童は自分のよさを理解し、より伸ばそうとしている。 【数値指標】 ・児童・教職員の肯定的回答率 80%以上	○児童のよさを認め励ます指導の充実や互いのよさを認め合う機会の充実に努め、個々の自己肯定感の向上を図る。 ・帰りの会・学級活動などで互いのよさを認め合える機会の設定 ・各教科の学習活動での学び合いの場の設定	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>児 童</td><td>83.5</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	児 童	83.5		教職員	100								
	R 6	R 7																
児 童	83.5																	
教職員	100																	
B 4 児童は、授業中や集会等に、自分の考えを話したり、語彙力を生かして分かりやすく文に書いたりすることに慣れ親しんでいる。 【数値指標】 ・児童・教職員の肯定的回答率 90%以上	○授業中や集会等では、学年に応じた話し方を指導する。 《みゆきっ子パワーアッププロジェクト》かしこく 低学年 ・自分の考えを声の大きさに気を付けて話す。 ・友達の話を静かに終わりまで聞き、考えを伝え合う。 中学年 ・自分の考えを相手に分かりやすく話す。 ・友達の話をうなずきながら一生懸命聞き、話し合う。 高学年 ・自分の考えを理由をつけて分かりやすく話す。 ・友達の考えを自分の考えと比べながら聞き、対話する。 ・ぐんぐんタイムの活用を通して、学年・学級で日常的に漢字や語句の練習や文を書く活動に取り組む。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>児 童</td><td>80.5</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>95.7</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	児 童	80.5		教職員	95.7								
	R 6	R 7																
児 童	80.5																	
教職員	95.7																	
B 5 学校は読書活動を積極的に推進している。 【数値指標】 ・教職員・保護者・児童の肯定的回答率 90%以上	○図書室利用を活性化するため、多様なジャンルの本に触れる機会をつくる。 ・司書によるブックトークやボランティアによるお話し会 ・各種イベントの実施 ○読書ファイルの活用や学年だより、図書だより等での呼びかけや家読の取組など、家庭での読書を奨励する。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>児 童</td><td>88.2</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td>86.6</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	児 童	88.2		教職員	100		保護者	86.6					
	R 6	R 7																
児 童	88.2																	
教職員	100																	
保護者	86.6																	
B 6 学校は保護者と連携して、家庭学習の習慣化と基礎・基本の定着に取り組んでいる。 【数値指標】 ・教職員・保護者・児童の肯定的回答率 80%以上	○学習効果が期待される家庭学習の取り組み方についての研究 ・保護者と連携した基礎・基本の定着 ・ステップアップシートの活用等、目標を明確にした学習意欲の維持・高揚 ・家庭学習への評価や見取り	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R 6</td><td>R 7</td></tr><tr><td>児 童</td><td>81.8</td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td>80.7</td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】		R 6	R 7	児 童	81.8		教職員	100		保護者	80.7					
	R 6	R 7																
児 童	81.8																	
教職員	100																	
保護者	80.7																	